

## 答申の要点 (案)

### (新市建設計画ハード未実施事業徳山地区関係分)

未実施ハード事業優先度評価の結果を箇条書きにまとめたものであり、答申書前半部分の「新市建設計画の進捗状況」のハード事業に関する要旨となるもの。

#### 【総括】

徳山地区に関係する新市建設計画主要ハード事業は全部で 85 事業あるが、そのうち約 9 割は完了ならびに現在実施中の事業であり、概ね計画通り実施されているものと判断できる。

「消防緊急通信指令システム」、「高規格救急車の適正配置」や「北部地域消防署」をはじめとした安心・安全の分野では、多くの事業が実施されており、市民の安心・安全の確保の視点において、当計画は重点的に実施されている。

現時点で未実施の 8 事業のうち、実施の必要性が高いと考えられる以下の 2 事業は、今後も継続して事業実施に向け取り組まれない。

#### 【「必要性が高い」と判定された事業】

##### 「徳山下松港港湾整備事業」

国際的な物流拠点としての機能が高まることで徳山地区の活性化が見込めるため、環境が整い次第実施すべき重要事業と考える。

##### 「周南道路事業」

路線に関しては検討の余地があるが、「徳山下松港港湾整備事業」と連携し、徳山地区の活性化に資する重要な事業であるため、是非、実現すべきと考える。

#### 【「必要性が低い」と判定された事業】

##### 「新たな交流拠点施設整備事業」

周南市独自の事業として考えた場合でも、施設整備による産業の高度化、新産業の創出は実現され難いと考えられるため、必要性は低い。今後、新たな施設整備は不要と考える。

#### 「合併記念公園化事業」

合併のシンボルは必要だが、現下の厳しい財政状況を考慮すると、4地区に新たな公園を整備するのではなく、既存の公園がより市民に愛される場となるよう整備すべき。

#### 「ポケットパーク整備事業」

維持管理の負担増を考えると、新たにポケットパークを整備する必要性は低い。

#### 「中須小学校校舎・屋体建設事業」

学校の再編整備計画に基づき実施すべき事業であり、安全確保の観点で必要があれば、耐震改修は実施すべき。

また、小学校以外の施設としての利活用があるかを検討すべき。

#### 「大津島（馬島）漁港環境整備」の公園整備事業

公園整備による島の活性化は限定的であり、隣接公園がすでに役割を果たしているため、新たな公園整備の必要性は低い。

しかしながら、大津島への観光客誘致のための整備は必要。

#### 【その他】

##### 「交通教育センター建替え事業」

安全教育の拠点であり、整備の意義はあるため、老朽化により危険な状態であれば改修が必要。同時に、一層のPR等により利用者を増やす努力も必要と考える。